

新年のごあいさつ



三重県中小企業団体中央会
会長
佐久間 裕之

新年あけましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申しあげます。

さて、わが国経済は、政府による金融政策、財政政策及び成長戦略の一体的な推進により、緩やかな回復基調にあるといわれていますが、県内中小企業の多くは回復の実感を得られるまでには至っておらず、原材料価格の高騰や電力料金の値上げなど、依然として厳しい状況が続くと予想されます。

厳しい経済状況のもと、県内中小企業が経済環境の変化に即応し持続的に発展していくためには、自助努力により経営革新を図るだけでなく、組合等連携組織による事業の共同化を一層推進し、将来の発展を目指していくことが極めて重要となります。

このような中、三重県では、一昨年に制定された「三重県中小企業・小規模企業振興条例」に基づき、県内中小企業の特性に応じた様々な中小企業振興策が展開されています。

さらに、本年5月開催の「伊勢志摩サミット」の県内への経済波及効果が、本県中小企業の振興発展にも大きく寄与するものと期待しているところであります。サミットの成功を中央会を挙げて支援、協力していく所存です。

ところで、本会は昨年12月に創立60周年を迎えました。

この節目を契機に決意も新たに、中小企業連携組織の専門支援機関としての役割を一段と發揮しながら、組合等を通じた中小企業・小規模企業の振興に真摯かつ迅速に対応し、新しい時代に即した組織化の推進並びに三重県経済の活性化に全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、本会の事業運営に対し一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

終わりに、本年が皆様方にとって明るく希望に満ちた素晴らしい1年になりますとともに、皆様方のご繁栄とご健勝を心より祈念申しあげまして、新年のあいさつといたします。



三重県知事
鈴木 英敬

明けましておめでとうございます。

皆様には、ご健勝にて希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新しい年を迎えるにあたりまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、戦後70周年や三重県中小企業団体中央会の創立60周年など数々の歴史の節目となる年でした。そのような中、皆様方と官民一体となって行った誘致活動が実を結び、本年5月26日、27日の「伊勢志摩サミット」開催決定という大きな成果を得ることができた年となりましたことを感謝申し上げます。

伊勢志摩サミットの開催を、国際観光地としてのレベルアップだけではなく、国内外の人々に、三重県ならではの美しい自然、豊かな文化・伝統、先端技術などを知っていただく絶好の機会と捉え、プレスツアーの実施やイベント等のあらゆる機会を通じ、強力に三重の魅力を発信してまいります。

また、「伊勢志摩サミット県民会議」を中心に、市町や企業、関係団体等と共に、あと5ヶ月後に迫ったサミット開催に向けて、歓迎気運を更に高めながら、できるだけ多くの県民の皆さんのが参画していただけるよう全県的な取組を加速してまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

伊勢志摩サミットの開催を契機に、観光の産業化により、持続的・安定的な観光客誘致に結びつけていくとともに、県内企業の海外展開や食品等の輸出促進など多方面にわたり、「オール三重」で本県の国際展開を強力に推進し、三重の産業が国内外に向けて力強く展開できるよう取組を進めてまいります。

さらに、強じんで多様な産業構造を構築するため、航空機産業をはじめとする成長産業や「食」関連産業などの振興を通じ、産業の「高み」をめざす取組を強化するとともに、地域を支える中小企業の活動や人材育成に対する支援など産業基盤を強固にする取組を充実させ、本県の経済・産業のステージアップにつなげてまいりたいと考えておりますので、三重県中小企業団体中央会の皆様の一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心より祈念申し上げます。